

# 福島県立安積中学校・高等学校（仮称） 整備に関する基本計画

県教育委員会では、令和2年2月に策定した「中高一貫教育後期実施計画」に基づき、新たな中高一貫教育校を安積高等学校に併設型で設置することとしました。

この度、その設置に向けて「福島県立安積中学校・高等学校（仮称）整備に関する基本計画」を策定しましたので、以下に概要を示します。

## ◇ 「福島県立安積中学校・高等学校（仮称）整備に関する基本計画」の概要

### 1 福島県立安積中学校・高等学校（仮称）の概要

|          |  |
|----------|--|
| 開校(予定)年度 | 令和7年度  |
| 設置場所     | 福島県立安積高等学校（郡山市開成）                              |
| 生徒募集定員   | 中学校60名（2学級）                                    |
|          | ※高等学校の生徒募集定員（併設中学校からの入学予定者数を含む）は、年度ごとに策定し公表する。 |
| 通学区域     | 県下一円   |

### 2 教育内容等

- ① 生徒の高い志を実現する質の高い学力を育成し、進学指導拠点校として、県全体の学力向上を牽引する教育内容とする。
- ② 中高一貫教育校として、6年間を見通した系統的な指導により、高いレベルの進路実現に向け主体的に学ぶ生徒を育成する。
- ③ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業※における課題研究を軸とした産学官連携、地域との共創等を特色とする取組や、文化活動を尊ぶ郡山市の立地を活かした教育内容とする。  
※安積高等学校は、第2期（令和元～5年度）の指定を受け、理数系教育等に関する教育課程の研究開発を進めている。
- ④ 教育の柱として、STEAM教育※の推進を掲げ、創造性、表現力、課題解決力等を育成する。  
※科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、哲学、芸術、歴史などの教養（Art・リベラルアーツ）、数学（Mathematics）の諸領域・各教科等を横断しながら、実社会での課題発見・解決に必要な本質を見抜き考える力や新たな価値を生み出す創造力等を育む教育。

### 3 施設整備計画

#### (1) 整備方針

中学校の専用施設のほか、高等学校との共用施設を整備する中高一貫棟を新設する。  
（既存の高等学校校舎、体育館、グラウンドは継続して使用する。）

- ① 主体的、対話的で深い学びを実現するための施設・・・例：多目的スペース、少人数教室
- ② 中学生と高校生が共に学ぶ環境を実現するための施設・・・例：図書館、大講義室
- ③ 中高一貫教育を一層充実するための施設・・・例：中高合同職員室

#### (2) 整備構想（想定）

建設場所 安積高等学校敷地内、現在の校舎東側（図書館及び駐輪場のある場所）  
建設地面積 約2,450㎡  
施設規模 地上3階建て、延べ面積4,200㎡程度

#### (3) 年次整備計画

令和3～4年度 基本・実施設計  
令和4～5年度 既存施設解体・改修工事  
令和5～6年度 中高一貫棟新築工事